

令和7年度夏 あらかわ俳句吟行会

投句数	110句
投句者数	24人
投句条件	①テーマ:荒川公園 ②夏の季語を用いること
選者	佐々木 忠利氏(荒川区俳句連盟会長)ほか
実施日	令和7年6月21日(土曜)から7月21日(土曜)

特選	夾竹桃一両貨車の喫煙所	鈴木しおりさん
選評	掲句は非常に印象的な視覚描写を持っている。「夾竹桃」と言う華やかな植物と「貨物」と言う無機質な要素の対比が巧みで、その場の雰囲気鮮明に切り取っている。亦「一両」が具体的であり、想像の余白も残している点が魅力的。全体として、喫煙所と言う日常的な場面に詩的な奥行きを感じさせる秀作。(荒川区俳句連盟会長・佐々木忠利氏)	
入選	柿の実や蓆をしっかりと描きおり	せつ子さん
	西日中碁盤の上の戦かな	斉藤寿美子さん
	庁舎聳ゆ木々をすかして晩夏光	松本紫音さん
	公園の焼けるばかりの土に蟻	三田忠彦さん
	下剋上公園将棋夏の陣	川井多美子さん

令和7年度秋冬 あらかわ俳句吟行会

投句数	219句
投句者数	71人
投句条件	①テーマ:ジョイフル三の輪商店街周辺 ②秋・冬の季語を用いること
選者	佐々木 忠利氏(荒川区俳句連盟会長)ほか
実施日	令和7年11月1日(土曜)から11月30日(日曜)

特選	街道は今も動脈冬茜	室井ハツエさん
選評	冬茜の空を背景に、街道が今もなお人々の営みを支える「動脈」として息づいている様子を描いています。「今も」が歴史の重みを、「動脈」が生命感を、「冬茜」が静謐な美しさと一抹の哀愁を添え、余韻深い一句です。(荒川区俳句連盟会長・佐々木忠利氏)	
入選	ジョイフルの寄り道楽し夜学生	小池恵美子さん
	カート押す老多き街小春かな	高仲絹さん
	去年今年弁天様に見守られ	鈴木しおりさん
	広大な引込み線や冬の空	吉田美智子さん
	郷の味噌選ぶ小春の商店街	茂木尚美さん